

保育の質について 前回の質問に対する回答

▶ 朝夕の時間帯の引継ぎの対応について

① 遊びの場面、子どもへの配慮

- ・ 大人が引継ぎまでの時間を見通した関わり方をする
- ・ 引継いだ大人へ、今までの遊びを伝え、続けて同じ遊びをしてもらう
→「続きは〇〇さんとしてね。」等
- ・ 状況を見て遊びの区切りがついたところで引継ぐ
→「明日またあそぼうね！」等
- ・ 毎日同じ生活の流れをつくる
→子ども自身も見通しがたち、落ち着いて遊べるようになる
- ・ 夕方保育用の遊具を用意しておき、子どもの状況によって出して遊ぶ
→子どもが気持ちを新たに遊ぶことができる

② 引継ぎでの大人の配慮

- ・ 子どもの安全・確認を優先する
→引継ぎまでの子どもの様子や特に配慮することを伝達する
引継ぎ時に登降園板を見ながら子ども一人ひとりを確認する
- ・ 園全体・クラスのあそびの約束を職員間で共有する
- ・ 夕方の時間帯トイレに行かず落ち着いて遊べるように、トイレは引継ぎ前に済ませる
- ・ 乳児クラスは、決まったパート職員を配置する（いつも同じ大人がいることによる安心）

③ 会えない保護者への対応について

- ・ 連絡帳に記入
- ・ 特に伝えたいことがある時は、担任が残る 又は 遅番（又はパート職員）に伝える。
- ・ 個人面談

➤ 保育士のスキル向上と維持のための取り組み

- ① 時間内学習会（A 学習会・主任会主催の研修）に順番で参加して学ぶ
また、自主研修の制度を利用して学ぶ
- ② 保育課を通しての研修会に参加して学ぶ
- ③ 園内研修（ex.エピペン研修・交換実習・朝夕パート職員など）を実施して学ぶ
- ④ 父母合同学習会、園主催学習会などを企画・実施して学ぶ
- ⑤ 会議で研修報告を受けて学ぶ
- ⑥ 会議で学習の時間をつくって学ぶ（ex.乳幼児学習会・わらべうた・フェルト人形作り・遊びの実技講座・プロジェクトに分かれての検討など）
- ⑦ 保育・安全関係の本やプリントを回覧したり、研修報告のファイリングなどで自由に持ち出すことができるようにしている
- ⑧ チューター制度、人事考課制度を行う
- ⑨ ベテランと若手でクラス担任を組む

➤ 大事にしていること

- ① 職員が仕事に対するモチベーションやどんな仕事がしたいかの理想を持っている
- ② 職員が向上心をもてるような職場の土壌を作っている
- ③ 若手職員が保育について疑問や悩みを気軽に話せるような職員集団を作っている
- ④ 民主的な人間関係、職員集団を作っている
- ⑤ 職員と保護者がパートナーとなり、共に子育てを楽しむように